

◆ *Furusato Obara Club*

Take Free [0円]

おばらのじかん

— 第2号 —

2014 Summer



巻頭
特集

懐かしくて新しい夏のおばらで大満喫
この夏、おばらで過ごそう！

[イラスト] 小原へようこそ

[マンガ] イカくんキンちゃんの小原日記

[小原いろいろ情報]

ゆる〜り夏のおばら



おばちゅう卒集まれ!
www.facebook.com/obachuu

懐かしくて新しい夏のおばらをも大満喫

この夏、おばらで過ごそう！

小原ゆかりの人がこぞって集まる最大イベント「小原夏まつり」は、毎年8月15日夕方から小原ふれあい公園で開催。

夕方からはじまる盆踊りや賑やかな夜店もたくさん立ち並び賑わいます。

昨年から同時開催されている

軽トラに行灯を載せた「軽トラあんどん」の展示投票や

若い小原の同級生が集える場所

「おばちゆう cafe」もでき、ますます見逃せない！！

なんととっても最大の魅力は目の前で上がる

200発の花火！その迫力は一見の価値あり！

フィナーレは、恒例の「小原富士ナイアガラ花火」で夏まつりを大満喫。

かえりなさ～い
いらっしや～い

軽トラあんどん パレード！

パレード：2014年8月14日（木）
展示・表彰：2014年8月15日（金）



参加派

今年はいつもの賞以外にも審査員特別賞も用意！もちろんみんなの投票も得点になるよ。パレードコースも決まったので早く知りたい人は「フェイスブックおばちゆう座」を今すぐチェックしてね！小原中学出身でなくても登録OKだよ。制作は順調かな？昨年優勝の「ころん」やあこさんの制作現場をちょこっとお見せしちゃいます！



昨年度優勝作品



お盆の時期、たくさんの小原出身者が集う「小原夏まつり」にあわせ、里山小原の良さを再認識してもらおうと始まった新しいイベント「軽トラあんどんパレード」。地区ゆかりの有志グループが、小原和紙を使い、軽トラに載せるための行灯、「軽トラあんどん」を創作。個性豊かなあんどんたちが集まります。小原夏まつり前日には、軽トラあんどんに灯りがともり、小原地内を進みます。自然豊かな里山の夜に、和紙の温もりある灯りを楽しめます。小原夏まつり当日には、軽トラあんどんの展示と投票、表彰も行われます。



やっぱ小原音頭でしょ！
五平餅の配布も
うれおいしい〜

おか



投票派

見て楽しんで、投票するなら前日のパレードは必見！パレードマップのチラシを忘れないでね。(おぼらだより) 又はおぼちゅうのフェイスブックでも告知します(夏まつり当日は、夕方から展示しているので早い時間が穴場。でも醍醐味はやっぱり日が暮れてから。花火が始まる前には是非、見に行こう！お気に入りのおぼちゅうの「一票」)

あなたの一票は誰の手に！

「おぼちゅう」で検索！是非登録してね！
最新情報はフェイスブックで
随時アップしますのでどうぞ期待！
www.facebook.com/obachuu

装いも新たに今年もOPEN決定！

おぼちゅうCafe



夏まつり、ばったり同級生や幼なじみに出会えたら。思い出話に、近況報告なんかで盛り上がるよね！そんな小原中学校卒業生たちや友達が集える場所ができないか、と昨年オープンしたのが「おぼちゅうCafe」。

ドリンク片手に花火やおしゃべりを満喫できます。みんな誘い合って、懐かしい顔に会いに行こう！

今年も元おぼちゅうの教師で現在ミュージシャンのユージンこと、鎌田雄二さんも来るよ。

店員一同、待っています！



里山レジャー。釣って、食べて大満足！

夏の小原お出かけスポット



小原北部の大自然に囲まれた大福魚苑は、風情たっぷりな里山を満喫できる癒やしスポット。中でも子供たちに人気なのがマス釣り。自分で釣った魚は、頼めばその場で美味しい料理にしてくれます。夏は大きな「いけす」を貸しきって「マスのつかみどり」もでき、里山とレジャーを満喫できるのはここだけ。

大福魚苑

豊田市大ヶ歳連町大石ノ郷212
Tel 0565-65-2648
営業時間：10:00～17:00
定休日：水曜日（祝日時は翌日）

僕も釣ったよ～



小原で食べる五平餅食べくらべ！

小原で人気の五平餅。形も個性的ですが味もまた個性的。あなたのお気に入りを見つけよう！

紙の花

- ◆ 八丁味噌のkokoroと生姜・ネギの風味がいっぱい
- ◆ 甘すぎない味噌が大人の味
- ◆ 小原で五平餅の元祖はここ！



230円
豊田市永太郎町166
Tel.0565-65-1711

樟茶屋

- ◆ ひょうたん形で食べやすい
- ◆ くるみ・ピーナツ・ごまのブレンドが絶妙
- ◆ 香ばしさがいい
- ◆ 長野産の赤味噌と醤油であっさり味



200円
豊田市雑敷町家ノ本22-3
Tel.0565-65-3621

大福魚苑

- ◆ 先代からの40年変わらぬ味
- ◆ 香ばしきの秘密は煎りピーナツ
- ◆ 三温糖のkokoroのある甘さ



250円
豊田市大ヶ歳連町大石ノ郷212
Tel.0565-65-2648

うめや

- ◆ かわいい♡
- ◆ ハート型の五平餅
- ◆ クリーミーな味噌だれの秘密は、たっぷりの煎りピーナツとごま
- ◆ 味噌でしっかりコーティング



団子型 200円
ハート型 250円
豊田市永太郎町
Tel.090-3484-2039

土産をご紹介します。



ご当地ゆるキャラ「おぼらっきー」グッズ
かわいいおぼらっきーがいつも一緒。人気のぬいぐるみも欲しくなっちゃう
【小原観光協会加盟おぼらっきー販売店】

四季桜のお酒 四季桜にちなんだ特別純米酒「おぼら四季桜乃壺」と本醸造「小原四季桜」。どちらもフルーティーな甘口。【寿楽荘・大正屋・ファミマ小原店】

※商品は時期によって品切れの場合もございます。

おか

やっぱり定番は和紙ふる！

キレイに整備された散策路は癒されるよー



緑っぱいの「和紙のふるさと」では、風に吹かれて散策路を歩くもよし、和紙工芸作家の作品を鑑賞するもよし。和紙のものづくりは、子供でも素敵なオリジナル作品が作れる。1時間半程度で、うちわ作り(1200円)、壁かけ(1400円)等が体験できます。和紙の温かみを感じるお土産も、いろいろ選べて楽しい。



和紙のふるさと

豊田市永太郎町洞216-1
Tel.0565-65-2953
営業時間:9:00~16:30
定休日:月曜日(祝日は閉館)
展示館入館料200円(中学生以下無料)



8月3日(日)は和紙のふるさと恒例和紙良いフェスタ開催!

和紙を使ったものづくりやスタンプラリー、大道芸など楽しいイベント盛りだくさん! 屋台も出て盛り上がります!



小原が誇る癒やしの温泉～



小原が誇る癒しスポットといえば、高齢者向け温泉保養施設「寿楽荘」。高齢者向けですが、一般の人でも利用できます。「露天風呂」では小原の自然を満喫。内湯の温泉は、ツルツルの肌ざわりが心地よい単純弱放射能冷鉱泉。また料理も繊細で美味しい味付けの料理も好評です。

寿楽荘

豊田市平畑町東11722
Tel.0565-65-3611
1日帰り入浴10:30~15:00 宿泊16:00~10:00 定休日:月曜日



ほんとにいろいろあつて迷っちゃうな～

おばらのお土産特集! 定番のたまごと豆腐をはじめ数々あるお土産。中でも新しいものや知られざるお土産



和紙のふるさと「和紙と和紙グッズ」
手漉き和紙や各種和紙グッズが揃います。ラッピングにつかたり、和紙の風合いのうちわ・かご等も素敵。【和紙のふるさと】



小原産梅100%「うめジャム」小原の可児農園産(西萩平町)の完熟南高梅のフルーティな香りとさわやかな酸味は絶品。【紙の花・寿楽荘・四季桜の里】



おばらボンヌ小原自慢の食材を生かした本格スイーツ誕生!たまご・豆腐・四季桜の風味が生きたダクワース。【ファミマ小原店・たまご村・寿楽荘】



「小原の四季桜茶」紅茶・緑茶四季桜のほのかな香りがやさしい。銘店いこく屋でブレンドした四季桜茶。パッケージも一新!【和紙のふるさと・寿楽荘・大正屋・ファミマ小原店】平日/パッケージの場合もごさいます。

イラッシャイ 小原へようこそ

4 年近く前、青森県弘前市から小原町に越してきた水澤さんファミリー。小原に来た時には長男の日の出君は3ヶ月、今は「大草こども園」に通うようになった。そして小原生まれの弟、陽太君(5ヶ月)がいる。弘前では知立出身の奥さん絹世さんと食堂を営んでいたが長男が生まれるということと奥さんの実家がある愛知へ移ろうと思っていた時、3/11の震災があり、

急ぎよ「空き家バンク」で探した小原の古民家へやって来た。小原は全く知らない所だったが、ここへ来て本当に良かったと言う。近隣の都市圏へ1時間足らずで行ける便利さ。水や森、四季折々の自然環境の豊かさ。生活に必要なものが全てあること。そして小原の人たちの出会えば声をかけてくれるおらかな人間性。そして小原で出会った同世代の仲間とのコミュニケーションの良さ。これらに小原の可能性を感じるのとこと。今は「コレカラ食堂」を拠点とした移動販売で、小原の食材を活かした「食」を提供。昨日は名古屋屋、今日は豊田、明日は各地で好評の「おばら弁当」販売で飛び回る。最近では桑畑を始め「桑茶」・「桑の実シロップ」も作りだした。今日もミニバンに「小原」を詰め、小原の魅力を発信してくれている...

M.T



イカくん 小原日記



おばらに住みたい人必見! 豊田市の空き家バンク

豊田市 空き家バンク 検索
www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

小原いろいろ情報

農村舞台でワヤンクリ

9月27日(土)に大坂の熊野神社でインドネシアの伝統芸能で世界遺産にも登録されている影絵芝居「ワヤンクリ」の公演が行われます。ダナンと呼ばれる人の人形遣いが何体もの皮に彫刻をほどこした精巧な人形を操りながら登場人物それぞれの声を使い分けて物語りを進行していきます。インドネシアでは祭や儀式の時に上演される大衆芸能です。都市は闇と自然を人々の暮らしから追い出し、24時間人工の光りで満ちています。田舎の暮らしか朝、東から太陽が登って始まり、陽が沈めば外での野良仕事は出来ません。都市の失った「光と影」を農村舞台という、人々が集いコミュニケーションを確めた場所を感じて欲しいとのこと。公演は「梅田座」というグループが行い、リーダーの梅田さん(浜松文化芸術大学教授)は3年間ハリ島に住み現地で影絵を学んだ人です。ですから日本語で物語を進行してくれまます。生のガムラン演奏と共に夜のファンタジーを楽しみましょう。

9月27日(土)17:00~
大坂・熊野神社(調整中)
※雨天の場合は「419製作所」
入場料 1000円
(中学生以下、70歳以上無料)
事前にお申し込みしてください。
Tel.090-2572-0877(竹内まで)
E-mail: takenoya@hm10.aitai.ne.jp



小原の情報ページ
「おばちゅう卒」是非登録してね!
最新の情報はフェイスブックで随時アップしますのでご期待!
www.facebook.com/obachuu

- おばらイベント
- 【8月3日】和紙良いフェスタ
- 【8月14日】軽トラあんどんバレード
- 【8月15日】小原夏まつり花火大会
- おばちゅうCafe
- 軽トラあんどん展示表彰
- 【9月20日】おばら杉田久女俳句大会
- 【10月26日】小原文化まつり

小原白宇感 編集後記

この季節、木々のざわめきとともに風によって、鳥のさえずる声が聞こえてくる。季節で移りゆく小原の自然は、住んでみないと感ずることができないのかもしれない。小原に移り住んで17年...結構、楽しくやっています。

読んでいるときは大変に楽しいのですが、いざ自分の書いた物が活字になると言うのは大変な重圧です。いつも会議の席上皆さんの紙面に対する前向きで、内容の濃い会話の中に一歩踏みだせず居る自分。ああ地団駄。

小原に生まれ小原で育ち、自分の母校に娘も通う。昔とあまり変わらない風景と仲間たちに囲まれた何気ない日々になんて幸せを感じながら、大好きな小原を守り続けたい。小原を愛する人が一人でも多く増えることを願って...

初めて紙面制作に参加し、商品撮影等を担当。被写体に向き合うとファインダー越しに、愛すべき小原の情景と人々の笑顔が浮かび、私にも郷土愛が備わっているのだと確認。少しホッとしつつシャッターを押す。

T.I(今号編集長)

K.O

T.M

H.Y

